

シンヨコ 02. 新横浜の これからのために

CHAPTER.02
SHINYOKO NO KOREKARA NO TAMENI



時代の急激な変化等に対応しさらに魅力を高めるため、
これからのまちづくりのための視点をまとめています。

新横浜では、働く人、住む人、お店を営む人、訪れる人、地域を支える町内会や自治会の方々等の多様な人がつどい、つながるまちづくりに取り組んでいます。

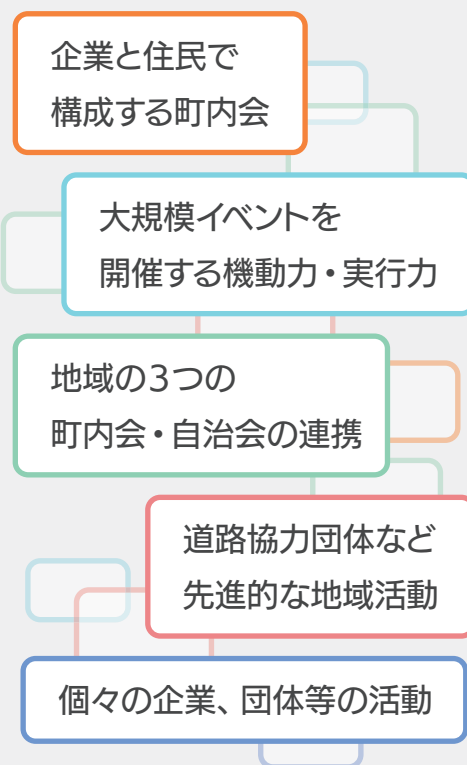
変化する社会に対応し、より一層働きやすく暮らしやすい、訪れたいまちを目指すためには、新横浜の強みである“地域力”に加え、“企業のちから”により新しい技術を取り入れるなど、楽しさや便利さを広げていくことに挑戦し続けることが、持続的なまちづくりの原動力となります。

この挑戦が新横浜の新たな価値の創出につながり、好循環を生み出し、進化し続けるまちとなります。

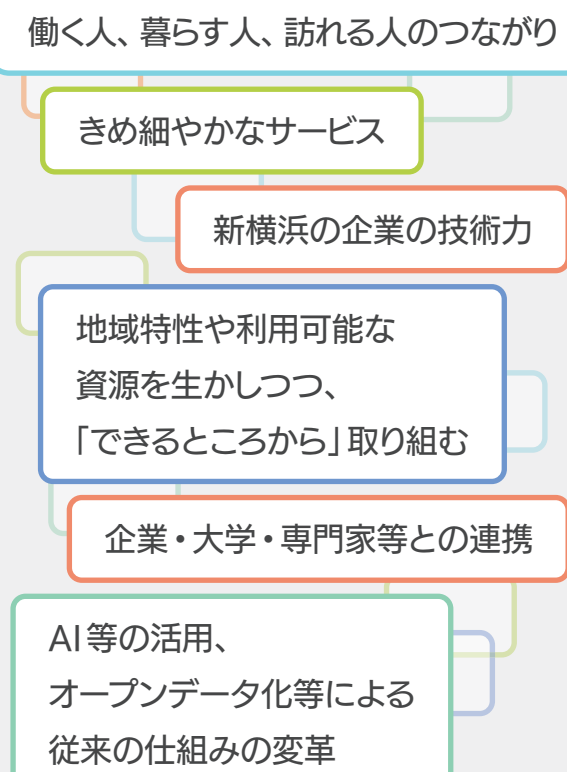
まちを愛し挑戦し続ける新横浜



これまでに培った地域力



地域力をさらに生かす



地域のつながりを中心とした
企業と住民が連携した
豊かなまちづくり

加速度的に変化する社会、
進化する技術力、
ひろがる多様性等への対応

これからの時代を見据えて



例えば、イベントで訪れた多数の来訪者の特性をオープンデータで把握することでタイムシェアや曜日シェアを分析し出店を促したり、恵まれたインフラを活用し、歩行空間の利活用や自動運転バスの運行等により周辺地区も含めた地域の回遊性を高めるなど、地域が一体となって様々な実証実験にチャレンジし社会実装を目指すことなどが考えられます。

地域のつながりを中心に、産官学住が連携し、
持続可能で、多様性に対応した、
柔軟で豊かなまちづくり

新横浜の魅力をより高めていくためには、新横浜が持つ様々な特性を生かした取組が必要です。

横浜市都市計画マスタープランや、策定検討中の土地利用誘導戦略等の上位計画を踏まえ、多様な都市機能の配置や規模、低層部における連続した賑わい形成とつどい・憩いの場の創出、大規模施設とまちをつなぐ回遊と滞留の工夫、豊かな暮らしづくりなど、地域の思いと誘導施策が一体となって、これからのまちをつくっていきます。



新幹線をはじめとする広域交通結節点と、
土地区画整理による整った基盤を生かす

都市機能の更新や共同化の推進、高度利用による業務・商業の集積
快適な滞在・回遊につながる宿泊機能等の誘導

新横浜駅から 鳥山川に向かって、オフィス街、活気に満ちた店舗、緑あふれる通り、
川沿いの公園 と閑静な住宅街など、徐々に変化していく街並みの特性を生かす

安全・安心な暮らしを守る
生活利便施設等の誘導

地域の拠点となる広場空間等の創出
まちを楽しむ滞在機能等の誘導、場所に応じた多様な都市機能の集積

地域 活動が盛んで、住民と企業のつながりがある特性を生かす

まちのにぎわいや豊かな暮らしを支える機能や施設、
地域・企業等のつながりや多様な交流を深める空間の誘導

横浜国際総合競技場や横浜アリーナ、横浜労災 病院等があり、来街者が多い特性を生かす

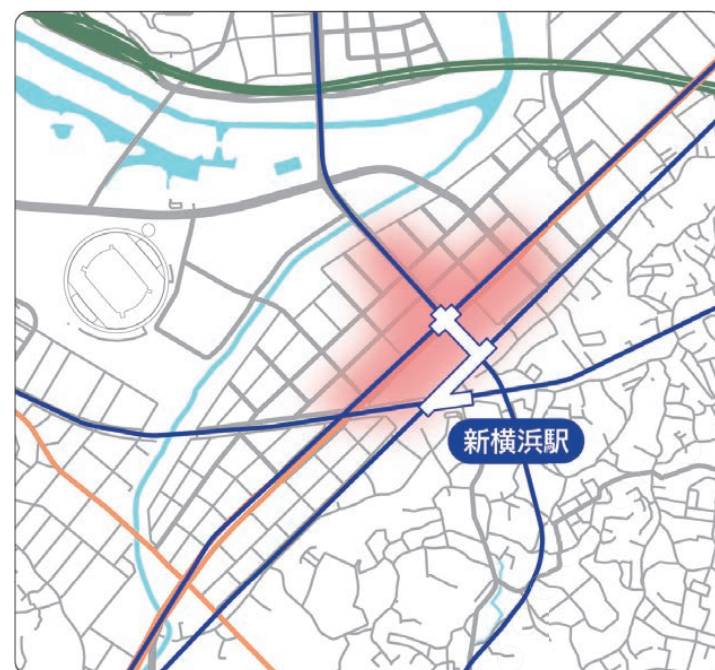
通りに応じた個性豊かな歩行空間 の形成、地区内の回遊性の向上、
快適な滞在空間・移動環境の創出、施設とまちが連携した取組の推進

1 横浜の陸の玄関口

<新横浜駅周辺エリア>

横浜を代表するターミナル駅の一つであり、引き続き横浜経済をけん引していくため、共同化等により高度利用を推進し、業務・商業・ホテル等が建ち並ぶ活気あるエリアを形成していきます。

あわせて、地区の顔となるエリアを中心に、住民や企業等の交流機能やまちを楽しむ滞留機能等を誘導していきます。

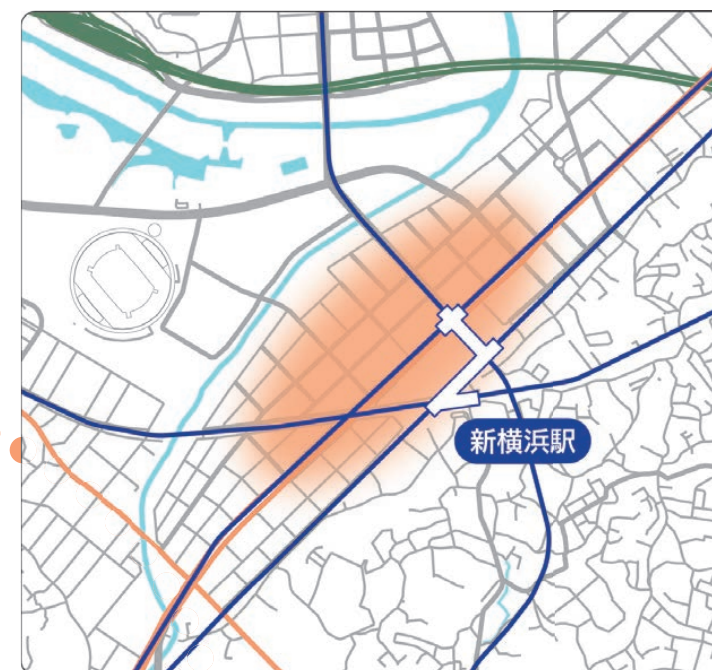


2 多様な都市機能の交わり

<北部中央エリア>

地区のにぎわいと働きやすさ、暮らしやすさを高めるため、業務・商業・ホテルやサービス施設等の多様な都市機能を誘導し、24時間365日、様々な表情があるエリアを形成していきます。

あわせて、低層部に各通りの特徴に応じた商業やサービス施設、スーパーマーケット等の暮らしを支える施設、交流機能、滞留機能を誘導していきます。



<新横浜一丁目・川沿いエリア>

住み続けたい街を目指して、新横浜駅前公園沿いを中心に共同住宅が建ち並ぶことで生まれた落ち着きを保ちながら、暮らしや子育て環境等の向上に資するよう、必要な利便施設等を誘導していきます。

あわせて、夜間防犯のための外構照明等の設置など暮らしにやさしい歩行空間づくりを推進していきます。



<施設と通り>

まちを巡りたくなる通り、イベントの行き帰りに高揚感を楽しむ場、快適で安全・安心な通りなど、特徴を生かした回遊性を生み出すとともに、まちのつながりをさらに広げるため、デッキ等の拡充や、歩行空間・敷地内空地の活用等を推進していきます。

あわせて、地域活動など人のつながりが持続する仕組みづくりに取り組んでいきます。



4 閑静な住宅街

3 まちをつなぐ